

指導者・スタッフの確認事項

2008. 5. 25

記載責任者 原 田

■本部への挨拶

試合開始前、終了後の本部挨拶は確実に。
特に最終試合終了前に止むを得ず帰る場合は、必ず本部の了解を取ること。
上記役員・監督がいない場合は、現地代表者(引率責任者がその責を負う)。
子供たちにはシャツを入れさせ、帽子を取り、サンダル履きはさせない。

■グラウンド準備の手伝い

試合は各関係者の手配により成立します。決して、招待されお客様ではありません。
お願いして試合を組んでもらっている場合が多く、グラウンドを持たない自団のことを理解ください。
出来る限り準備の手伝いをし、大会及び各試合終了後、グラウンド整備(ブラシかけ、ゴールの撤去等)を積極的に手伝ってください。

何をやるかわからなければ、関係者に(本部等)聞いてください。
以上のことは、現地代表者が責任を持って実施してください。
スタッフがいない場合は、保護者のお父さんの協力を得てください。
チームのみんなでやることで、スタッフだけの仕事ではありません。
積極的に協力を得ましょう。それが次の試合につながります。

■グラウンドでのサングラス使用の禁止・アンダーシャツでの活動の禁止

試合中ベンチは基より、練習でのサングラスの使用は禁止でお願いします。
子供たちに威圧感を与え、他関係者・保護者への印象も良くありません。

スタッフは勿論、子供たちのアンダーシャツでの活動も止めさせてください。
クラブチーム等で試合後、夏場良く見かけられますが、
試合中、シャツはパンツに入れなさい、ソックスは下げないで上げなさい、
と指導しているにも関わらず、指導者がそれでは困ります。
他のチームは他のチーム、他の人は他の人です。
試合後のクールダウンは、シャツを着替えるとか、ソックスを下げる等、方法を変えてください。

最近、アンダーシャツタイプの袖の無いプラクティスシャツがあります。
これはアンダーシャツではありませんが、子供たちには肩を出す、肌を露出することは
怪我が多くなることを教えてあげてください。
すねあてを仮に入れていなくても ソックスを上げていれば軽い擦過傷は防げるのと同様です。

■ベンチは 役員・コーチ・スタッフ・選手 とする

保護者・当該試合以外の子供(コーチの子も含む)は、ベンチに入れないでください。
練習試合・低学年の試合でも同様で、トップチームになるまでに身につけてください。

■ベンチコントロール

主たるベンチ責任者は、暴言・過度なクレーム等、本人の自制のみならず、
他の役員・コーチの言動も管理下にあります。

選手への指示は役員・コーチのみです(県予選レベルの試合は登録者のみベンチ入り可)。
ベンチ以外の応援保護者は指示できません(これもベンチ管理者責任、注意してください)。

■事は小さいうちに対処する

試合中、練習中の子供同士の思いやりのない、汚い言葉使い・いじめ・暴力を見逃さない。

■タバコを吸いながらの子供の指示はしない

本人はちょっと、と思うかもしれませんがまわりからそう見えないことが多い。

■怪我の対応 処置を第一優先

ゲーム中であれ、子供の安全確保が第一に優先せれます。
変んな打ち方をすると、帰宅後に症状が悪化する場合があります。
その時は異常なくても保護者には説明をし(事後報告も含め)、
しっかり様子を見る様お願いしてください。
異常があった場合の対応もアドバイスしてください(救急車を呼ぶとか 素人判断を避ける)。

因果関係はわかりませんが試合でなんでもなく、帰宅後入浴中に死亡した例があります。
怪我・体調不良での異常があった場合は、試合・練習に関わらず、
必ずチーム役員にも報告ください。

各指導者・スタッフの普通救命講習の受講をお願いします(消防署で実施)。
蘇生法・AED・RICE・熱中症対策・止血の方法等を共通認識としてください。

■現地代表者の役割

試合の為の移動等、余裕を持って事故の無い様にしてください。
役員(代表・監督)が常に帯同するとは限りません。
その場合は引率責任者を選任し、その方が現地代表者として運営の安全管理をお願いします。
子供たち・保護者と一緒に行っている小さな子供たちも行動に注意してください。
平気で試合中、本部・ベンチ前を横切る子供たち(親も含め)がいます。
しっかりと指導をお願いします。
選手達も、試合の際の移動は本部前を通させないでください。

■ヘディング練習(運営管理上)

中学年は回数限定し、強いボール・距離を長くした練習は避けてください。
感覚を早い段階で教えるなら柔らかいボールで行ってください。
勿論、低学年での練習は不可です。
体が成長しきっていない段階でのヘディングは、脊髄損傷の危険を伴うことを認識してください。
高学年でもヘディングの過度な練習は慎むべきです。

■スパイクは4年以上からにしています(運営管理上)

理由は現在使用のクレーのグラウンドでは、土が固く突き上げ強いため、
低学年の成長期の子供には適しません。
メーカーが販売のために製作していることが困ったものです。
グラウンドの実情に合っていない。3年以下はトレーニングシューズを使用して下さい。

■ライセンス取得の推奨

日本サッカー協会C級・D級の取得の援助をします。
本人の希望またはチームからの推薦により、チームへの貢献が可能と役員が認めた場合は、
費用を援助します。
今後、トップチーム(試合)のベンチワークはD級以上の取得者が条件になります。

日本サッカー協会4級審判員は、チームとして指導者の必要事項とします。
上級資格3級審判員の取得に関しても、条件が整えば取得への推薦を行います。
スタッフに関しては、指導者に準じて取得してください。
運営には必要な資格です。
自らの積極的な取得、並びにチームからの取得依頼に協力願います。

■みんなで運営に協力しましょう

教えることは楽しいことです。子供たちの成長は楽しみです。
ただ、それだけでは運営できません。
教えるだけでなく、ひとりひとりが何んらかの役員・役職を持つよう希望します。
出来る範囲で結構です。役割分担に協力をお願いします。
―指導者、―役職が理想です。

■審判の実施

審判の技量の有無に関わらず、無資格では行わないでください。
フレンドリーの練習試合、審判の技術向上の目的とした練習試合、
チームの責任者が認めた練習試合は除きます。

■他人の大人の役割

核家族の現代社会では、家族以外の大人と接することは子供にとって非常に大切です。
その役割と責任を持って、偏った感情で相対することの無い様、心がけましょう。

以上